

令和4年度

# 決算特別委員会資料

(後期高齢者医療特別会計)

市民協働部保険医療課

## 令和4年度 後期高齢者医療特別会計の決算概要

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方と、一定の障害があり、申請によって認定を受けた65歳以上75歳未満の方が被保険者となる独立した医療保険制度です。制度の運営については、都道府県を単位とする広域連合が主体になり、国・県・市町が負担する公費（約5割）、現役世代の方が負担する保険料からの支援金（約4割）、被保険者が負担する保険料（約1割）を財源に、後期高齢者医療被保険者にかかる医療費の給付やレセプト点検、特定健診、葬祭費の支給等を行うものです。対象者は、令和5年3月31日現在、5,735人です。

後期高齢者医療特別会計は、被保険者から徴収した保険料及び一般会計からの基盤安定繰入金（保険料軽減分）を広域連合に納付するもので、令和4年度の歳入決算額は、550,433,428円、歳出決算額は、534,332,551円で、歳入歳出差引残額は、16,100,877円になりました。

歳入における保険料収納率は、特別徴収が100.00%、普通徴収は99.32%です。また、保険基盤安定繰入金は、低所得者にかかる保険料の軽減分を補填するもので、令和4年度は軽減対象者数が3,806人、繰入額は105,279,896円です。この繰入金については全体の3/4を県が負担し、1/4を市が負担しています。

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金として、保険料負担分425,015,338円（過年度保険料負担分と年度内収納分）、保険料軽減分（基盤安定負担金）105,279,896円で、合計530,295,234円を後期高齢者医療広域連合へ納付いたしました。

また、歳入歳出差引残額につきましても、次年度に過年度保険料等負担金として広域連合へ納付します。

## 決算状況

### [ 歳 入 ]

項 目	決算額	構成比率	備 考
特別徴収保険料	264,668,083円	48.08%	徴収率 100.00%
普通徴収保険料(現年)	159,852,523円	29.04%	徴収率 99.32%
普通徴収保険料(過年)	829,529円	0.15%	徴収率 46.63%
保険基盤安定繰入金	105,279,896円	19.13%	
繰越金	12,611,125円	2.29%	
諸収入	7,192,272円	1.31%	
歳入合計	550,433,428円	100.0%	

### [ 歳 出 ]

項 目	決算額	構成比率	備 考
後期高齢者医療広域連合納付金	530,295,234円	99.24%	保険料負担分 425,015,338円 保険料軽減分 105,279,896円
諸支出金	4,037,317円	0.76%	保険料還付金 4,037,317円
歳出合計	534,332,551円	100.00%	

◎歳入歳出差引残額

16,100,877 円

## 歳入根拠明細書

(市民協働部保険医療課) (単位:円)

決算書 ページ	款	項	目	節	収入済額	充当先事業	算定根拠
334 ～ 335	1	1	特別徴収保険料	現年度分	264,668,083	後期高齢者医療広域連合納付事業	調定額 264,668,083 徴収率 100.00%
			普通徴収保険料	現年度分	159,852,523	後期高齢者医療広域連合納付事業	調定額 160,949,416 徴収率 99.32%
				滞納繰越分	829,529	後期高齢者医療広域連合納付事業	調定額 1,778,913 徴収率 46.63%
	4	1	保険基盤安定繰入金	保険基盤安定繰入金	105,279,896	後期高齢者医療広域連合納付事業	県負担分 3/4 78,959,922 市負担分 1/4 26,319,974
	5	1	繰越金	前年度繰越金	12,611,125	後期高齢者医療広域連合納付事業	前年度繰越金
	6	1	延滞金	延滞金	112,400	後期高齢者医療広域連合納付事業	保険料延滞金
		2	保険料還付金	保険料還付金	7,079,872	保険料還付事業	過年度保険料還付金 (広域連合から還付)



## 【付属資料一覽】

- ① 後期高齡医者医療特別会計事業実績報告書